

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

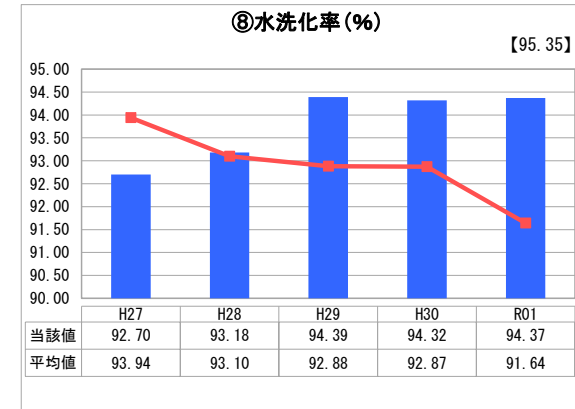
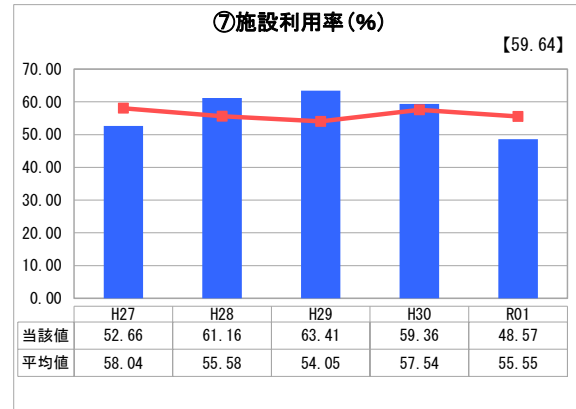
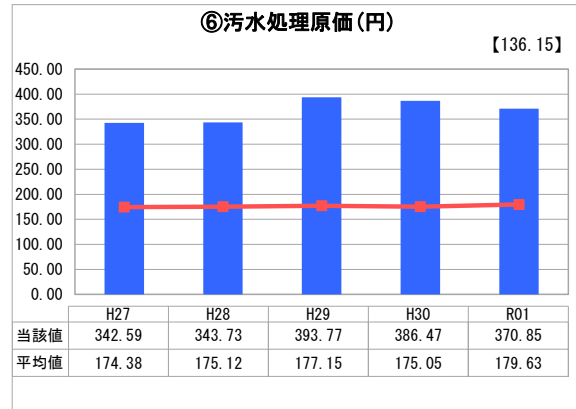
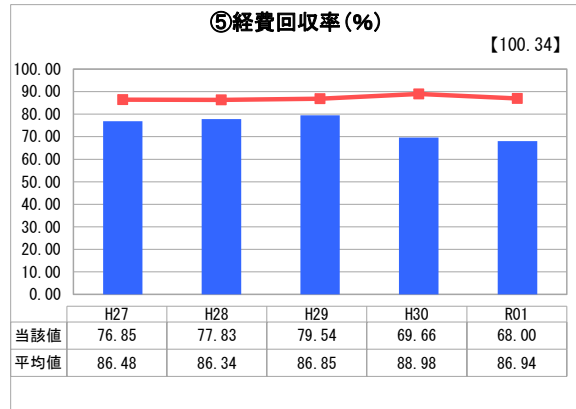
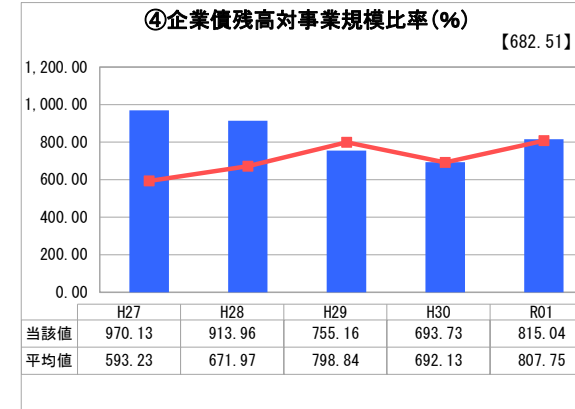
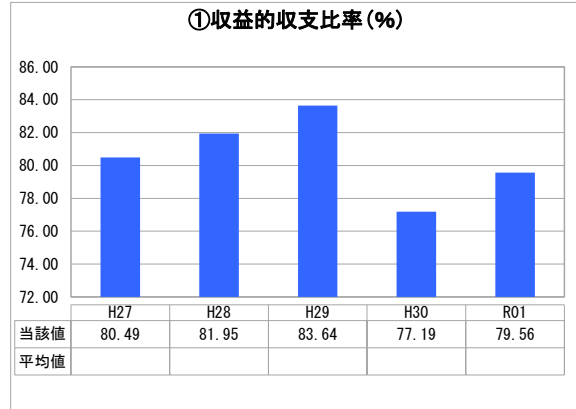
北海道 白老町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	86.65	78.69	4,422

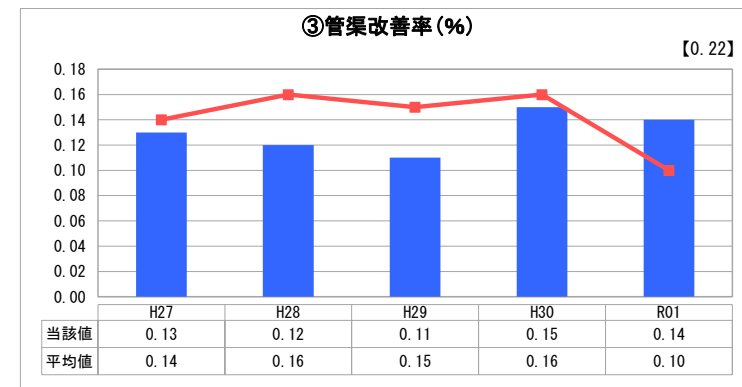
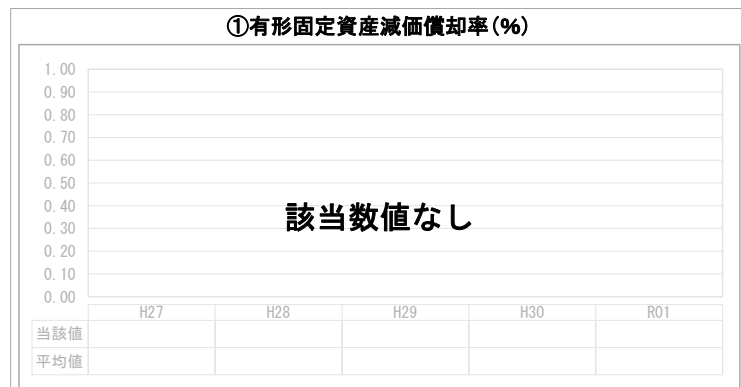
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
16,638	425.64	39.09
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
14,272	7.08	2,015.82

<b>グラフ凡例</b>
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率  
令和元年度は一般会計繰入金の増により、一時的に数値が上昇した。  
今後は人口減少等に伴う利用料金の減収が見込まれる。
- ④企業債残高対事業規模比率  
令和2年度に起債償還のピークを迎えるものの、以降償還金は減少傾向となる見込みであることから、今後より改善される見通しである。
- ⑤経費回収率  
昨年度とほぼ同様の数値となったが、今後利用料金の減収が見込まれるため、費用の見直しや使用料改定について検討が必要である。
- ⑦施設利用率  
不明水の減少により利用率が低下した。
- ⑧水洗化率  
本町においては現在新たな下水道の整備はしておらず、ほぼ昨年度同様の数値となった。

### 2. 老朽化の状況について

- ③管渠改善率  
昨年とほぼ同様の推移であるが、改善ペースは依然低い状況にある。  
令和2年度策定のストックマネジメント計画を基に、カメラ調査等を継続的に実施し修繕や清掃を適宜実施する。

### 全体総括

令和元年度には収益的収支比率に改善傾向がみられたが、一般会計繰入金が増といった一時的要因によるものであり、地方債償還金については令和2年度にピークを迎えるものの、以降は減少が見込まれる。  
長期的には人口減少による下水道使用料の減収、管きよの老朽化による修繕、更新費用の増加が見込まれることから、経営状況を注視しつつ、より計画的な業務の執行が必要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。